

正倉院文書写経機関係文書編年目録

— 天平十二年・天平十三年 —

有 富 純 也

一 はじめに

東京大学大学院人文社会系研究科における石上英一先生のゼミでは、この七年間、大規模史料群の整理法の習得を目的として、正倉院文書の写経機関係文書の編年整理を行ってきた。本目録は、その成果をまとめることを目的として作成されたものである。

本号では、第三号・第四号に引き続き、天平十二年（七四〇）及び天平十三年（七四一）の目録を掲載する。

二 凡例

・ 文書に番号を付す際、特に多くの継文の場合、階層性をもたせている。すなわち、単体の文書が集合して一つの継文を構成している場合、継文ごとに一つの番号を立て、さらにその継文の中の文書にも

枝番号を付している。

・ 文書名は、『大日本古文書』（編年文書）のそれを原則として採用しているが、私見により適当と考えたものに改めた場合がある。

・ 年月日の項で、某年某月某日作成とあるのは、その文書全体の作成年月日が特定できるもので、某年某月某日～某年某月某日とあるのは、作成年月日が特定できない場合に、その記載対象年月日を示したものである。なお、（ ）を付したものは推定（ただし、手実などにおいて、その文書には某年と記されていないと、前後の文書からほぼ確実に作成された年が決定できる場合、推定であっても（ ）は付さないこととする）。

・ 作成または発信↓受信では、案文の場合にも、皇后宮職（↓図書寮）という形で、想定される正文の受信先を示した。全体に（ ）を付したものは推定。

・ 『大日本古文書』（編年文書）における所在は、原則として巻数と頁数のみを記した。なお、『大日本古文書』（編年文書）に収録されて

いない場合は「未収」とした。

・文書の所在については、SⅡ正集、ZⅡ統修、ZKⅡ統修後集、Z
BⅡ統修別集、JⅡ塵芥、ZⅡ続々修と、略号を用いた。また流
出文書のうち、『正倉院文書拾遺』所収のものは、「拾遺」とした。

断簡番号は、東京大学史料編纂所編『正倉院文書目録』のものを採
用し、まだこの番号が付されていない続々修などについては、写真
帳における紙数を、〈〉で示した。

・備考欄には、端裏書の記載や、八世紀当時および近代の編成時に
おける題箋軸や付箋の情報などを記すこととした。

三 天平十二年の写経事業・写経所文書の概観

天平十二年の写経所文書は、のちに述べる北大家写経所啓（目録
8）の例外を除き、正月から四月中旬までのものしか存在しておらず、
しかもその多くは五月一日経の写経・校経手実継文で占められている
（目録2及び5）。また四月十五日には皇后宮職宛てに写経記録（目録
7、6はその案文）が提出されており、写経事業に一応の区切りがあ
つたために作成された、と理解できる。以上の点などから、五月以降
東院写一切経所は休止状態となり、翌年閏三月に再開されるまで写経
事業は行われていなかったと推測される（ただし願文の貼り付けは七
月二十七日まで行われていた）（皆川一九六二）。

先にも述べたごとく、五月一日経関係以外の文書では、北大家写経
所啓がある。当文書は、皇后宮職系写経所以外で写経が行われていた
ことを示す証拠であり、貴重な史料である。

四 天平十三年の写経事業・写経所文書の概観

前述のごとく、五月一日経写経事業は天平十二年四月ごろにいった
ん休止となったが、天平十三年閏三月に、写経の場を東院写一切経所
から福壽寺写一切経所へと変更しつつも、再開されることとなる。経
巻検注注文・経巻納櫃目録が三月十一日から十九日にかけて作成され
ており（目録2～11）、再開の準備は三月ころから開始されていると
思われる。

中断していた理由について、「山下一九九九」は以下のように考察
している。すなわち、この時期の中断は、「そのあとの福壽寺への移
転も含めて、一連の動きとしてとらえる必要があるだろう」（四一
頁）と述べ、この約一年間の休止期間中に、「皇后宮から福壽寺への、
移転のための整理や準備作業が行われてた」（三八頁）と推定する。
山下氏は、「将来園分寺となるべき福壽寺」（四二六頁）に一切経を具
備するべく、東院写一切経所での写経を計画的に打ち切り、約一年間
の準備期間を経たうえで五月一日経書写が福壽寺写一切経所で再開さ
れた、と推定しているようである。

だが、先にも述べたように、その後の写経事業に必要な準備作業の
一つである、経巻検注注文や経巻納櫃目録の作成は三月に行われてい
ることから、天平十二年四月から天平十三年三月まで、願文の貼り付
け以外の写経事業は完全に休止しており、「整理や準備作業」は十三
年三月から開始されたと思われる。十三年三月に突如再開が決定され
たため経巻検注注文や経巻納櫃目録の作成が行われたのであって、十
二年四月の時点で、再開を見込んだうえでの中断であったわけではな

いと、ここでは推測しておく。

写経・校経手実は、現在塵芥文書に収められ、文書自体破損しているものが多いが、閏三月から十二月までの手実を確認することができ（目録13〜17）。

また、六月二十三日からは、千手経一千巻の書写が行われている。現存する手実では、七月から十二月までの文書が残存しており（目録22・25）、充紙が行われたことを示す帳簿も残っている（目録29）。この千手経書写は、天平十五年まで行われている（栄原一九八四a）。十四年・十五年における千手経写経事業に関しては、前号を参照されたい。

その他の外写として、法華経が書写されていたようである。その痕跡は現存する正倉院文書中にほとんど残っていないが、たとえば古来小僧十一月分一切経手実に「外写法花経二巻用紙廿九枚」と（目録17―13、大日古七―五九三）という記載があり、他の写経生数人の手実からもその書写が行われていたことを確かめられる。

五 天平十二年の個別文書の検討

〔1〕 経師等食料受納勘注（案？）

紙背の写経司月食料案帳に正月料に関する解案が貼り継がれていないことから、覚書程度のものであり、正式な文書作成を意図したものではないと判断した。覚書が反故となり、二月分月食料申請解へと二次利用されると考えたい。

〔2〕 写一切経経師手実帳

〔継文の形式〕 付箋の存在から、五九紙と六〇紙は成巻時の貼り継

ぎと推測。『正倉院古文書目録』（奈良帝室博物館正倉院掛、一九二九）はそこで分割して掲載する。主に二月から四月上番までの、写経生手実継文。

余乙虫手実（2―41）のみが正月の手実を提出し、かつ、二月分と三月分のあいだに挟まっていることは多少気になるが、おそらく遅れて提出されたため、この部分に挿入されたと推測される。紙背左上に「上番」とあり、次の高東麻呂手実（2―42）の紙背左上には「三月上番」とある。

〔6〕 写経司啓案・〔7〕 写経司啓

先にも触れたように、天平十二年四月をもって五月一日経はいったん休止する。よってそれ以前の書写目録がこの文書であるが、不審な点もある。当文書では、三五三二巻の書写が終わっているとするが、再開時の納櫃目録では、天平十三年三月十九日付で、三五〇九巻（十三年目録9）もしくは三五〇〇巻（十三年目録10）と、二二巻ないし三二巻不足している。「山下一九九九」は、一切経の納櫃にともなっており、経典類の貸し出しが始まっていることから、一度納櫃することによって、新写経典の所在が固定されるので、貸し出しが可能になると述べる。また山下氏は、十二年と十三年の経巻数の変化について、「整理し」と簡潔に論じている（四二―一頁）。

〔8〕 北大家写経所啓

この文書について、詳しく検討したものに、「山本一九八〇」・「栄原一九九五」がある。まず山本氏は、差出名が某家写経所でないこと、署名人が姓名だけであることから、資人が自家の家主に出した文書であると推測する。山本氏の見解は一定の説得力をもつが、ではなぜこの文書が現在残存するのかという疑問が発せられよう。それに対する

山本氏の解答は以下のようである。すなわち、北大家が皇后宮職に写経用紫紙を賜ったことがある（大日古二一・一六七、七一・一七六など参照）ことから、両者の間で写経用紙と反故文書の交換があったことを想定する。しかし、当文書が現実には反故として使用されていないことから、山本氏の見解にはやや難がある。一方榮原氏は、北大家写経所関係文書全体を分析したうえで、当文書は皇后宮職へと送られたと考えており、首肯し得る見解であるが、山本氏の見解に何ら反論・批判していない点は不満が残る。

よって二つの見解いずれが正しいか簡単には決めかねるが、とりあえず本稿では皇后宮職へ宛てられた文書と推測し、後考を俟ちたい。

六 天平十三年の個別文書の検討

〔1〕大般若経納櫃帳断簡

大般若経三百卷卅帙に関する断簡。中断の前後に五月一日経は大般若経の書写を行っていることから〔榮原一九八五〕、五月一日経関係の大般若経である可能性もある。再開に先立っての、経巻整理において用いられた文書であろう。

〔2〕〔6〕一切経経巻検注（并出入）注文

いずれも、櫃と一体となって置かれ、そこから出し入れする度に記入されていった文書であろう。続々修一五―一の中の文書であるが、新補白紙が挟まっており、近代以降の成巻であることは間違いない。

この文書がいつまでその機能を果たしていたのか見極めるのは難しいが、奉請記録を検討すると、乙櫃文書Ⅱ〔3〕は天平十四年九月二十八日に奉請記録が記されているため、その時点までは少なくとも当文

書群が機能を果たしていたと推測できる。

〔三上二〇〇〇〕は、天平十三年三月の納櫃帳と天平十四年十二月の納櫃帳をそれぞれ検討し、前者から後者への変化の過程を可能な限り復原した。今回はそれに加え、前者の納櫃帳は漸次櫃を増やしていったものの、その既存の櫃に関しては、天平十四年九月二十八日まで変化せず、それ以降に大幅な変更が生じて、天平十四年十二月の納櫃帳が形成された、と考えたい。

〔11〕一切経経巻目録

〔大平一九九五〕は、大日古において天平勝宝三年に類収されている写経目録（二一九九―一三七）が天平十三年のものであると論じた。すなわち大平氏によれば、当文書と〔8〕などにおける、甲・乙・丙櫃の巻数記載がほぼ合致することから、当文書を天平十三年に作成されたものと考察した。大平氏の推測は妥当であると考え、当目録にも採用する。

〔13〕・〔14〕・〔15〕・〔16〕・〔17〕については、杉本氏の原本調査をもとにした詳細な検討があり、復原試案に関してはすべて氏の研究に依拠している。

〔13〕写一切経経師等手実

〔継文の形式〕まず閏三月分の写経手実が貼り継がれており〔13―1〕、その後、前年に行われた願文の書写分についての、天平十二年七月二十八日文書が続く〔13―2〕、さらに四月分の写経手実が貼られている〔13―3〕。〔13〕が作成されたのち、〔12〕に記された作業量分についても布施を加えるため、〔12〕がさらに貼り継がれたのである。〔12〕は、十二年の写経所休止のため支払われていなかった布施をここで清算するべく、閏三月と四月とのあいだの手実

に差し込まれた形になったのだろう。

〔18〕装潢所告朔帳

ここでは題籤の記載を尊重し、「装潢所告朔帳」という文書名を採用する。装潢所から福壽寺写一切経所へと送進された文書の継文と考えるが、例えば〔14〕のように、正文として機能したか、やや疑問の残る文書もある。もしくはいずれも案文であり、装潢所で保管され続けた継文が何らかの形で今日まで伝来した可能性も否定できない。

〔21〕写一切経司移

当文書に対応する記載が、写経請本帳（大日古七―八八）に見られる。その記載及び当文書によれば、皇后宮職は僧玄昉に注維摩経六巻・大孔雀王経一卷・治意経一卷・獬狗経一卷の借用を依頼、それら経巻は写経司に貸し出されていたため、写経司から皇后宮職へと搬送された、ということがわかる。当文書は、天平十三年四月十九日に写一切経司から皇后宮職へ送られた際に、その経巻の内訳を記して付されたもの。当文書に関する詳細は、〔栄原一九九四〕を参照。また栄原氏は、写経司⇨写一切経司は内裏系の写経機関であると指摘する。

〔22〕4―2〕桑原足得校経手実

紙背に大日古未収の楽書があり、これが福壽寺写一切経所の初見史料と考えられている〔栄原一九八四b〕。栄原氏は表面手実作成以前の楽書、〔山下一九九九〕は以後の楽書とするが、いずれにしる、手実が作成された天平十三年八月二十九日前後の楽書であることはまちがいない。

〔29〕写経充紙帳

続々修三五―一裏に関しては、すでに〔須原一九九九〕によって目録化されている。須原氏が目録化した、天平十年から十一年にかけて

作成された文書は継文とされ、後にその紙背（つまり続々修三五―一表）は十三年八月から翌年四月まで写経充紙帳として用いられている。

当継文が特殊である点は、表が十三年以降に充紙帳として使用されている際、すでに文字のある紙背部分（つまり続々修三五―一裏）にも、おそらくほぼ同時期に草稿・習書などの書き込みを行っている点である。言いかえれば、続々修三五―一裏には、天平十年から十一年に記された文字と、十三年以降に記された文字が渾然としているのである。よって目録化することはやや困難であるため、楽書・習書などに関しては目録として採用せず、草稿であっても文書・帳簿としてある程度意味をもつものののみを採ることとした。

〔30〕写経行事布施勘注

天平十三年閏三月から、十四年十一月までの写経事業における布施額を集計したもの。作成は十四年十一月と考える。十五年十二月二十二日に秦大床に一三〇〇文、蘭部廣公に一〇〇〇文を給した記載があるが、これは追記であろう。

〔31〕装潢等送紙帳

装潢から送られてきた一切経書写に用いられる黄紙についての帳簿。記載内容は天平十三年閏三月から十五年五月までにわたるが、作成は十五年五月と思われる。

大日古	文書の所在	次	他の利用	備考
24-126	zz17-2<7>裏	1	紙背「写経司解案」(大日古7-278~279)	
7-423~472	zz19-3<1>~<106>	1		題箋「天平十二年経師手実」
7-423	zz19-3<1>	1		
7-423~424	zz19-3<2>	1		
7-424	zz19-3<3>	1		左端上方「秦」(未収)
7-424~425	zz19-3<4>	1		
7-425	zz19-3<5>	1		紙背右下天地逆「秦」(未収)
7-425~426	zz19-3<6>	1		
7-426	zz19-3<7>	1		
7-426~427	zz19-3<8>	1		
7-427	zz19-3<9>	1		
7-427	zz19-3<10>	1		紙背右上「六枚/廿三枚」(未収)
7-428	zz19-3<11>	1		「人成」左下に天地逆「大(?)」(未収)
7-428	zz19-3<12>	1		
7-429	zz19-3<13>	1		
7-429~430	zz19-3<14>~<15>	1		
7-430	zz19-3<16>	1		
7-430	zz19-3<17>	1		
7-431	zz19-3<18>	1		紙背中央「疑」(未収)
7-431	zz19-3<19>	1		
7-431~432	zz19-3<20>	1		
7-432	zz19-3<21>	1		

目 録

天平12年 (740)

番号	文 書 名	年 月 日	写経事業	文書機能	作成・発信→受信
1	経師等食料受納勘注 (案?)	(天平12.正)		食糧受納 文	写経司
2	写一切経師手実帳	天平12.正.30・ 2.15~4.15	五月一日経	手実	東院写一切経所
2-1	忍坂成麻呂写経手実	天平12.2.15作成	五月一日経	手実	忍坂成麻呂→東院写 一切経所
2-2	布利秋田写経手実	天平12.2.15作成	五月一日経	手実	布利秋田→東院写一 切経所
2-3	韓種麻呂写経手実	天平12.2.15作成	五月一日経	手実	韓種麻呂→東院写一 切経所
2-4	建部広足写経手実	天平12.2.16作成	五月一日経	手実	建部広足→東院写一 切経所
2-5	古来小僧写経手実	天平12.2.15作成	五月一日経	手実	古来小僧→東院写一 切経所
2-6	阿刀息人写経手実	天平12.2.15作成	五月一日経	手実	阿刀息人→東院写一 切経所
2-7	丸部石敷写経手実	天平12.2.15作成	五月一日経	手実	丸部石敷→東院写一 切経所
2-8	丈部子虫写経手実	天平12.2.15作成	五月一日経	手実	丈部子虫→東院写一 切経所
2-9	高束万呂写経手実	天平12.2.16作成	五月一日経	手実	高束万呂→東院写一 切経所
2-10	雀部鳥足写経手実	天平12.2.15作成	五月一日経	手実	雀部鳥足→東院写一 切経所
2-11	山部花万呂写経手実	天平12.2.16作成	五月一日経	手実	山部花万呂→東院写 一切経所
2-12	高忍熊写経手実	天平12.2.15作成	五月一日経	手実	高忍熊→東院写一切 経所
2-13	万昆国麻呂写経手実	天平12.2	五月一日経	手実	万昆国麻呂→東院写 一切経所
2-14	志紀人成写経手実	天平12.2.16作成	五月一日経	手実	志紀人成→東院写一 切経所
2-15	若養徳部大麻呂写経手実	天平12.2.17作成	五月一日経	手実	若養徳部大麻呂→東 院写一切経所
2-16	六人部大嶋写経手実	天平12.2.16作成	五月一日経	手実	六人部大嶋→東院写 一切経所
2-17	櫛井馬養写経手実	天平12.2.16作成	五月一日経	手実	櫛井馬養→東院写一 切経所
2-18	余広足写経手実	天平12.2.16作成	五月一日経	手実	余広足→東院写一切 経所
2-19	安曇広万呂写経手実	天平12.2.29作成	五月一日経	手実	安曇広万呂→東院写 一切経所
2-20	建部広足写経手実	天平12.2.29作成	五月一日経	手実	建部広足→東院写一 切経所

7-432~433	zz19-3<22>	1		紙背右下天地逆「秦」(未収)
7-433	zz19-3<23>	1		右下天地逆「菌」(未収)
7-433~434	zz19-3<24>	1		
7-434	zz19-3<25>	1		紙背右下天地逆「菌」(未収)
7-434~435	zz19-3<26>	1		
7-435	zz19-3<27>	1		
7-435~436	zz19-3<28>	1		紙背右下天地逆「菌」(未収)
7-436	zz19-3<29>	1		紙背右下天地逆「菌」(未収)
7-436~437	zz19-3<30>	1		紙背右上「菌」(未収)
7-437	zz19-3<31>~<32>	1		左上「菌」(未収)
7-437	zz19-3<33>	1		紙背右上「秦」(未収)
7-438	zz19-3<34>	1		
7-438	zz19-3<35>	1		
7-438~439	zz19-3<36>	1		紙背右下天地逆「廿一枚」(未収)
7-439	zz19-3<37>	1		
7-439~440	zz19-3<38>	1		
7-440	zz19-3<39>	1		
7-440~441	zz19-3<40>	1		
7-441	zz19-3<41>	1		
7-441~442	zz19-3<41>	1		前項と同紙
7-442	zz19-3<42>	1		本文参照
7-442	zz19-3<43>	1		紙背右下天地逆「注界」(未収)
7-443	zz19-3<44>	1		
7-443	zz19-3<45>	1		紙背右下天地逆「菌」(未収)

2-21	余広足写経手実	天平12. 2. 28作成	五月一日経	手実	余広足→東院写一切経所
2-22	志紀人成写経手実	天平12. 2. 29作成	五月一日経	手実	志紀人成→東院写一切経所
2-23	忍坂成麻呂写経手実	天平12. 2. 29作成	五月一日経	手実	忍坂成麻呂→東院写一切経所
2-24	雀部島足写経手実	天平12. 2. 29作成	五月一日経	手実	雀部島足→東院写一切経所
2-25	丈部子虫写経手実	天平12. 2. 29作成	五月一日経	手実	丈部子虫→東院写一切経所
2-26	山部永多満写経手実	天平12. 2. 29作成	五月一日経	手実	山部永多満→東院写一切経所
2-27	布利秋田写経手実	天平12. 2. 29作成	五月一日経	手実	布利秋田→東院写一切経所
2-28	若養徳部大麻呂写経手実	天平12. 2. 29作成	五月一日経	手実	若養徳部大麻呂→東院写一切経所
2-29	山部花万呂写経手実	天平12. 2	五月一日経	手実	山部花万呂→東院写一切経所
2-30	万昆国末呂写経手実	天平12. 2. 29作成	五月一日経	手実	万昆国末呂→東院写一切経所
2-31	古来小僧写経手実	天平12. 2. 29作成	五月一日経	手実	古来小僧→東院写一切経所
2-32	高忍熊写経手実	天平12. 2. 29作成	五月一日経	手実	高忍熊→東院写一切経所
2-33	丸部石敷写経手実	天平12. 2. 29作成	五月一日経	手実	丸部石敷→東院写一切経所
2-34	櫛井馬養写経手実	天平12. 2. 29作成	五月一日経	手実	櫛井馬養→東院写一切経所
2-35	阿刀息人写経手実	天平12. 2. 29作成	五月一日経	手実	阿刀息人→東院写一切経所
2-36	高東麻呂写経手実	天平12. 2. 29作成	五月一日経	手実	高東麻呂→東院写一切経所
2-37	古神徳写経手実	天平12. 2. 29作成	五月一日経	手実	古神徳→東院写一切経所
2-38	六人部大島写経手実	天平12. 2. 29作成	五月一日経	手実	六人部大島→東院写一切経所
2-39	錦部君万呂写経手実	天平12. 2. 29作成	五月一日経	手実	錦部君万呂→東院写一切経所
2-40	辛国人成写経手実	天平12. 2. 29作成	五月一日経	手実	辛国人成→東院写一切経所
2-41	余乙虫写経手実	天平12. 正. 30作成	五月一日経	手実	余乙虫→東院写一切経所
2-42	高東麻呂写経手実	天平12. 3. 16作成	五月一日経	手実	高東万呂→東院写一切経所
2-43	安曇広万呂写経手実	天平12. 3. 16作成	五月一日経	手実	安曇広万呂→東院写一切経所
2-44	布利秋田写経手実	天平12. 3. 16作成	五月一日経	手実	布利秋田→東院写一切経所

7-443~444	zz19-3<46>	1		
7-444	zz19-3<47>	1		
7-444~445	zz19-3<48>	1		紙背左上「藺」(未収)
7-445	zz19-3<49>	1		
7-445~446	zz19-3<50>	1		紙背右下天地逆「藺」、中央「若若若若」(未収)
7-446	zz19-3<51>	1		
7-446	zz19-3<52>	1		左上「藺」(未収)
7-447	zz19-3<53>~<54>	1		
7-447	zz19-3<55>	1		紙背左上「藺」(未収)
7-448	zz19-3<56>	1		左上「藺」、左下「論九」(未収)
7-448	zz19-3<57>	1		左上「藺」(未収)
7-448~449	zz19-3<58>	1		紙背右下天地逆「藺」(未収)
7-449	zz19-3<59>	1		付箋「四」「卅九ノ第十三」
7-449~450	zz19-3<60>	1		左上「藺」(未収)、付箋「三」「四十ノ第式」
7-450	zz19-3<61>	1		
7-450~451	zz19-3<62>	1		紙背左下天地逆「藺」(未収)
7-451	zz19-3<63>	1		紙背樂書「無有是末法本空有故/無有是末法本空有故」(未収)
7-451~452	zz19-3<64>	1		
7-452	zz19-3<65>	1		紙背左上「大」(未収)
7-453	zz19-3<66>	1		紙背右上「注界」、右下天地逆「藺」(未収)
7-453~454	zz19-3<67>	1		
7-454	zz19-3<68>	1		
7-454~455	zz19-3<69>	1		
7-455	zz19-3<70>	1		紙背右上「大」(未収)

2-45	櫛井馬養写経手実	天平12.3.16作成	五月一日経	手実	櫛井馬養→東院写一切経所
2-46	高忍熊写経手実	天平12.3.15作成	五月一日経	手実	高忍熊→東院写一切経所
2-47	丸部石敷写経手実	天平12.3.15作成	五月一日経	手実	丸部石敷→東院写一切経所
2-48	建部広足写経手実	天平12.3.15作成	五月一日経	手実	建部広足→東院写一切経所
2-49	万昆君万呂写経手実	天平12.3.15作成	五月一日経	手実	万昆君万呂→東院写一切経所
2-50	忍坂成麻呂写経手実	天平12.3.15作成	五月一日経	手実	忍坂成麻呂→東院写一切経所
2-51	志紀人成写経手実	天平12.3.16作成	五月一日経	手実	志紀人成→東院写一切経所
2-52	万昆国万呂写経手実	天平12.3.15作成	五月一日経	手実	万昆国万呂→東院写一切経所
2-53	杖部子虫写経手実	天平12.3.15作成	五月一日経	手実	杖部子虫→東院写一切経所
2-54	山部花万呂写経手実	天平12.3.15作成	五月一日経	手実	山部花万呂→東院写一切経所
2-55	余広足写経手実	天平12.3.16作成	五月一日経	手実	余広足→東院写一切経所
2-56	古来小僧写経手実	天平12.3.15作成	五月一日経	手実	古来小僧→東院写一切経所
2-57	雀部鳥足写経手実	天平12.3.15作成	五月一日経	手実	雀部鳥足→東院写一切経所
2-58	古神徳写経手実	天平12.3.16作成	五月一日経	手実	古神徳→東院写一切経所
2-59	六人部大鳥写経手実	天平12.3.15作成	五月一日経	手実	六人部大鳥→東院写一切経所
2-60	阿刀息人写経手実	天平12.3.15作成	五月一日経	手実	阿刀息人→東院写一切経所
2-61	大鳥祖足写経手実	天平12.3.30作成	五月一日経	手実	大鳥祖足→東院写一切経所
2-62	若養徳部太麻呂写経手実	天平12.3.30作成	五月一日経	手実	若養徳部太麻呂→東院写一切経所
2-63	高東万呂写経手実	天平12.3.30作成	五月一日経	手実	高東万呂→東院写一切経所
2-64	建部広足写経手実	天平12.3.30作成	五月一日経	手実	建部広足→東院写一切経所
2-65	阿刀息人写経手実	天平12.3.30作成	五月一日経	手実	阿刀息人→東院写一切経所
2-66	調雄蘇写経手実	天平12.3.30作成	五月一日経	手実	調雄蘇→東院写一切経所
2-67	漢浄麻呂写経手実	天平12.3.30作成	五月一日経	手実	漢浄麻呂→東院写一切経所
2-68	雀部鳥足写経手実	天平12.3.30作成	五月一日経	手実	雀部鳥足→東院写一切経所

7-455~456	zz19-3<71>	1		
7-456	zz19-3<72>	1		紙背右下天地逆「大」(未収)
7-456~457	zz19-3<73>	1		紙背右上「大」(未収)
7-457	zz19-3<74>	1		紙背右下天地逆「菌」(未収)
7-457~458	zz19-3<75>	1		紙背右下天地逆「菌」(未収)
7-458	zz19-3<76>	1	紙背右に用紙注文(抹消)	紙背右下天地逆「菌」(未収)
7-458~459	zz19-3<77>	1		紙背右下天地逆「大」(未収)
7-459	zz19-3<78>	1		
7-459~460	zz19-3<79>	1		
7-460	zz19-3<80>	1		左「注界」「大」(抹消、未収)
7-460~461	zz19-3<81>	1		紙背右上「大」「注界」(未収)
7-461	zz19-3<82>	1		紙背左上「菌」(未収)
7-461~462	zz19-3<83>	1		
7-462	zz19-3<84>	1		
7-462~463	zz19-3<85>	1		
7-463	zz19-3<86>	1		紙背樂書「諸諸文選選文選卷第ノ厲厲厲猛大天天天天无无」(未収)
7-463~464	zz19-3<87>	1		
7-464	zz19-3<88>	1		
7-464~465	zz19-3<89>	1		
7-465	zz19-3<90>	1		
7-465	zz19-3<91>	1		
7-465~466	zz19-3<92>	1		付箋「二」「四十ノ二」
7-466	zz19-3<93>	1		
7-466~467	zz19-3<94>	1		

2-69	志紀人成写経手実	天平12.3.30作成	五月一日経	手実	志紀人成→東院写一切経所
2-70	伊吉馬甘写経手実	天平12.3.30作成	五月一日経	手実	伊吉馬甘→東院写一切経所
2-71	忍坂成麻呂写経手実	天平12.3.30作成	五月一日経	手実	忍坂成麻呂→東院写一切経所
2-72	余広足写経手実	天平12.3.30作成	五月一日経	手実	余広足→東院写一切経所
2-73	韓種麻呂写経手実	天平12.3.30作成	五月一日経	手実	韓種麻呂→東院写一切経所
2-74	山部吾方満写経手実	天平12.3.30作成	五月一日経	手実	山部吾方満→東院写一切経所
2-75	布利秋田写経手実	天平12.3.30作成	五月一日経	手実	布利秋田→東院写一切経所
2-76	六人部大鳥写経手実	天平12.3.30作成	五月一日経	手実	六人部大鳥→東院写一切経所
2-77	古頼小僧写経手実	天平12.3.30作成	五月一日経	手実	古頼小僧→東院写一切経所
2-78	古神徳写経手実	天平12.3.28作成	五月一日経	手実	古神徳→東院写一切経所
2-79	丸部石敷写経手実	天平12.3.30作成	五月一日経	手実	丸部石敷→東院写一切経所
2-80	錦部君麻呂写経手実	天平12.3.30作成	五月一日経	手実	錦部君麻呂→東院写一切経所
2-81	櫛井馬養写経手実	天平12.3.30作成	五月一日経	手実	櫛井馬養→東院写一切経所
2-82	山部花万呂写経手実	天平12.3.30作成	五月一日経	手実	山部花万呂→東院写一切経所
2-83	辛国人成写経手実	天平12.3.30作成	五月一日経	手実	辛国人成→東院写一切経所
2-84	杖部子虫写経手実	天平12.4.9作成	五月一日経	手実	杖部子虫→東院写一切経所
2-85	忍坂成麻呂写経手実	天平12.4.12作成	五月一日経	手実	忍坂成麻呂→東院写一切経所
2-86	六人部大鳥写経手実	天平12.4.11作成	五月一日経	手実	六人部大鳥→東院写一切経所
2-87	山部花万呂写経手実	天平12.4.10作成	五月一日経	手実	山部花万呂→東院写一切経所
2-88	志紀人成写経手実	天平12.4.11作成	五月一日経	手実	志紀人成→東院写一切経所
2-89	古頼小僧写経手実	天平12.4.10作成	五月一日経	手実	古頼小僧→東院写一切経所
2-90	阿刀息人写経手実	天平12.4.11作成	五月一日経	手実	阿刀息人→東院写一切経所
2-91	漢浄万呂写経手実	天平12.4.11作成	五月一日経	手実	漢浄万呂→東院写一切経所
2-92	伊吉馬養写経手実	天平12.4.10作成	五月一日経	手実	伊吉馬養→東院写一切経所

7-467	zz19-3<95>	1		紙背右下天地逆「大」(未収)
7-467	zz19-3<96>	1		紙背右下天地逆「大」(未収)
7-468	zz19-3<97>	1		
7-468	zz19-3<98>	1		
7-468~469	zz19-3<99>	1		
7-469	zz19-3<100>	1		紙背右下天地逆「大」(未収)
7-469~470	zz19-3<101>	1		
7-470	zz19-3<102>	1		紙背「大般若経二百九十一卷」(抹消)
7-470~471	zz19-3<103>	1		
7-471	zz19-3<104>	1		
7-471~472	zz19-3<105>	1		付箋「冊ノ二」
7-472	zz19-3<106>	1		
24-119	zz26-2<6>裏	1	紙背「土師真木嶋校経手実」(6-4)	2-61の草案
24-119~120	zz26-2<5>裏	1	紙背「土師真木嶋校経手実」(6-4)	2-61の草案
7-473~485	zz26-2<1>~<23>	1		題籤「(表)校紙(裏)天平十二年校生」
7-473	zz26-2<1>	1		次文書と当時の紙でつなぐ
7-473~474	zz26-2<2>	1		
7-474~475	zz26-2<3>	1		
7-475~476	zz26-2<4>~<6>	2	5紙紙背(4)、6紙紙背(3)	
7-476~477	zz26-2<7>	1		
7-477	zz26-2<8>~<9>	2	9紙紙背「神亀五年(伯耆広国)解」(大日古24-5)	8紙紙背右上「注界」(未収)
7-477~478	zz26-2<10>	1		
7-478~479	zz26-2<11>	1		
7-479	zz26-2<12>	1		

2-93	布利秋田写経手実	天平12.4.9作成	五月一日経	手実	布利秋田→東院写一切経所
2-94	韓種麻呂写経手実	天平12.4.9作成	五月一日経	手実	韓種麻呂→東院写一切経所
2-95	雀部島足写経手実	天平12.4.10作成	五月一日経	手実	雀部島足→東院写一切経所
2-96	万昆君麻呂写経手実	天平12.3.30作成	五月一日経	手実	万昆君麻呂→東院写一切経所
2-97	大鳥祖足写経手実	天平12.4.12作成	五月一日経	手実	大鳥祖足→東院写一切経所
2-98	建部広足写経手実	天平12.4.12作成	五月一日経	手実	建部広足→東院写一切経所
2-99	調雄蘇写経手実	天平12.4.12作成	五月一日経	手実	調雄蘇→東院写一切経所
2-100	呉原生人写経手実	天平12.4.11作成	五月一日経	手実	呉原生人→東院写一切経所
2-101	安曇広麻呂写経手実	天平12.4.10作成	五月一日経	手実	安曇広麻呂→東院写一切経所
2-102	史戸益人写経手実	天平12.4.14作成	五月一日経	手実	史戸益人→東院写一切経所
2-103	錦部君麻呂写経手実	天平12.4.15作成	五月一日経	手実	錦部君麻呂→東院写一切経所
2-104	丸部石敷写経手実	(天平12.4)	五月一日経	手実	丸部石敷→東院写一切経所
3	大鳥祖足写経手実案	(天平12.3.30)	五月一日経	手実	(大鳥祖足→東院写一切経所)
4	大鳥祖足写経手実案	(天平12.3.30)	五月一日経	手実	(大鳥祖足→東院写一切経所)
5	写一切経装潢・校生手実帳	天平12.2.29～ 4.15	五月一日経	手実	東院写一切経所
5-1	阿閉馬養・秦大床・藪部広公装潢手実	天平12.4.20作成	五月一日経	手実	阿閉馬養・秦大床・藪部広公→東院写一切経所
5-2	養徳御勝校経手実	天平12.4.15作成	五月一日経	手実	養徳御勝→東院写一切経所
5-3	丹比道足校経手実	天平12.4.3作成	五月一日経	手実	丹比道足→東院写一切経所
5-4	土師真木嶋校経手実	天平12.4.3作成	五月一日経	手実	土師真木嶋→東院写一切経所
5-5	丹比道足校経手実	天平12.4.12作成	五月一日経	手実	丹比道足→東院写一切経所
5-6	土師真木嶋校経手実	天平12.4.10作成	五月一日経	手実	土師真木嶋→東院写一切経所
5-7	土師宅良校経手実	天平12.4.12作成	五月一日経	手実	土師宅良→東院写一切経所
5-8	大伴吉人校経手実	天平12.4.12作成	五月一日経	手実	大伴吉人→東院写一切経所
5-9	水海大成校経手実	天平12.4.12作成	五月一日経	手実	水海大成→東院写一切経所

7-479~480	zz26-2<13>	1		
7-480	zz26-2<14>	1		紙背「十二日入／六〇／〇／六十」(未収)
7-481	zz26-2<15>~<16>	1		15紙紙背右下天地逆「大」、16紙紙背「余〇十二」(未収)
7-481~482	zz26-2<17>	1		
7-482~483	zz26-2<18>	1		
7-483	zz26-2<19>	1		
7-483~484	zz26-2<20>	1		
7-484	zz26-2<21>~<22>	1		21紙紙背左「大」(未収)
7-484~485	zz26-2<23>	1		左上「寫寫寫」(未収)
24-126~127	z45①裏	2	紙背「天平十年某所啓」(大日古2-100)	
7-485~486	zz17-3<9>	1		付箋「廿八ノ十二」、紙背左上「篇古」(未収)
7-486~491	zz14-1<1>~<4>	1		

24-129	zz35-6<30>裏	1		
7-493	zz15-1<9>	1		
7-493~494	zz15-1<10>	1		
7-494~495	zz15-1<12>	1		
7-495	zz15-1<13>	1		
未収(拾遺45)		1		
7-495~496	zz15-1<8>	1	紙背天地逆「(天平十三年)写経布施勘注」(12)	天地逆で楽書
7-496~497	zz15-1<8>	1	紙背天地逆「(天平十三年)写経布施勘注」(12)	
7-499~500	zz17-3<10>	1		
7-497~498	zz15-1<7>	1		
12-99~137	zz13-1<2>~<24>	1		

5-10	養徳御勝校經手実	天平12.3.5作成	五月一日經	手実	養徳御勝→東院写一切經所
5-11	秦太床装潢手実	天平12.3.4作成	五月一日經	手実	秦太床→東院写一切經所
5-12	土師宅良校經手実	天平12.3.4作成	五月一日經	手実	土師宅良→東院写一切經所
5-13	大宅諸人校經手実	天平12.3.5作成	五月一日經	手実	大宅諸人→東院写一切經所
5-14	土師真木嶋校經手実	天平12.3.5作成	五月一日經	手実	土師真木嶋→東院写一切經所
5-15	川瀬少村校經手実	(天平12)	五月一日經	手実	川瀬少村→東院写一切經所
5-16	丹比道足校經手実	天平12.3.6作成	五月一日經	手実	丹比道足→東院写一切經所
5-17	丹比道足校經手実	天平12.2.29作成	五月一日經	手実	丹比道足→東院写一切經所
5-18	大宅諸上校經手実	天平12.4.21作成	五月一日經	手実	大宅諸上→東院写一切經所
6	写經司啓案	天平12.4.15作成	五月一日經	經卷書写記録	写經司→皇后宮職
7	写經司啓	天平12.4.15作成	五月一日經	經卷書写記録	写經司→皇后宮職
8	北大家写經所啓	天平12.7.8作成	北大家写經事業	写經目録	北大家写經所→皇后宮職(?)

天平13年 (741)

1	大般若經納櫃帳断簡	天平13.3.9作成	五月一日經 ?	經卷目録 断簡	(写經司)
2	一切經經卷檢注注文	天平13.3.11作成	五月一日經	經卷檢注 注文	写經司
3	一切經經卷檢注并出入注文	天平13.3.11~ 天平14.9.28	五月一日經	經卷檢注 注文	写經司
4	一切經經卷檢注并出入注文	天平13.3.11~ 7.13	五月一日經	經卷檢注 注文	写經司
5	一切經經卷檢注注文	天平13.3.11作成	五月一日經	經卷檢注 注文	写經司
6	一切經經卷檢注并出入注文	天平13.3.15~7.5	五月一日經	經卷納櫃 目録	写經司
7	一切經納櫃目録案	天平13.3.13作成	五月一日經	經卷納櫃 目録	写經司
8	一切經納櫃目録案	天平13.3.15作成	五月一日經	經卷納櫃 目録	写經司
9	一切經納櫃目録案	天平13.3.15・19 作成	五月一日經	經卷納櫃 目録	写經司
10	一切經納櫃目録	天平13.3.19作成	五月一日經	經卷納櫃 目録	写經司
11	一切經經卷目録	(天平13)	五月一日經	經卷目録	写經司

24-149	zz15-1< 8 >	2	紙背天地逆で「一切経納 櫃目録案」(7・8)	天地逆で楽書
2-155~156、256~ 257、286~295、7-503 ~511、520~523	j19、j12、j37			接続は杉本報告による
7-503~511	j19-1~19	1		
7-503	j19-1~2	1		端裏「閏三月手口(実)」 (未収)
7-504	j19-3	1		
7-504	j19-4	1		
7-504~505	j19-5	1		
7-505	j19-6	1		
7-505	j19-7	1		
7-506	j19-8	1		
7-506	j19-9	1		
7-506~507	j19-10~11	1		紙継目の位置不明
7-507	j19-12	1		
7-507~508	j19-13	1		
7-508	j19-14	1		
7-508~509	j19-15	1		
7-509	j19-15?	1		マイクロ紙焼に番号なし
7-509~510	j19-16	1		
7-510	j19-16~17	1		
7-510~511	j19-18	1		
2-256~257	j12-1	1		端裏「十三年四月経生等手 実/論論論□」(未収)
2-286~295	j12-2~16	1		
2-286~287	j12-2	1		端裏「四月手実」、天地逆「卷般 若経二百四冊並収」(未収)
2-287	j12-3	1		

12	写經布施勘注	(天平13.4末~5)	五月一日經	布施注文	(福壽寺写一切經所)
13	写一切經經師等手実	天平13.閏3.29~ 4.30	五月一日經	手実	福壽寺写一切經所
13-1	写一切經閏三月經師手実	天平13.閏3.29頃	五月一日經	手実	福壽寺写一切經所
13-1-1	山邊千足写經手実	天平13.閏3.29作成	五月一日經	手実	山邊千足→福壽寺写一切經所
13-1-2	山邊諸公写經手実	天平13.閏3	五月一日經	手実	山邊諸公→福壽寺写一切經所
13-1-3	檜前宗万呂写經手実	天平13.閏3	五月一日經	手実	檜前宗万呂→福壽寺写一切經所
13-1-4	山部花万呂写經手実	天平13.閏3	五月一日經	手実	山部花万呂→福壽寺写一切經所
13-1-5	達沙牛養写經手実	(天平13.閏3.29)	五月一日經	手実	達沙牛養→福壽寺写一切經所
13-1-6	葛野安麻呂写經手実	天平13.閏3.29作成	五月一日經	手実	葛野安麻呂→福壽寺写一切經所
13-1-7	坂合部史麻呂写經手実	天平13.閏3.2?	五月一日經	手実	坂合部史麻呂→福壽寺写一切經所
13-1-8	凡河内土持写經手実	天平13.閏3.29作成	五月一日經	手実	凡河内土持→福壽寺写一切經所
13-1-9	漢淨磨写經手実	天平13.閏3.29作成	五月一日經	手実	漢淨磨→福壽寺写一切經所
13-1-10	大鳥祖足写經手実	天平13.閏3.29作成	五月一日經	手実	大鳥祖足→福壽寺写一切經所
13-1-11	飛鳥刀良写經手実	天平13.閏3	五月一日經	手実	飛鳥刀良→福壽寺写一切經所
13-1-12	阿刀息人写經手実	天平13.閏3.29作成	五月一日經	手実	阿刀息人→福壽寺写一切經所
13-1-13	雀部島足写經手実	天平13.閏3.29作成	五月一日經	手実	雀部島足→福壽寺写一切經所
13-1-14	大石広麻呂写經手実	天平13.閏3.29作成	五月一日經	手実	大石広麻呂→福壽寺写一切經所
13-1-15	古来小僧写經手実	天平13.閏3.29作成	五月一日經	手実	古来小僧→福壽寺写一切經所
13-1-16	丸部石敷写經手実	(天平13.閏3.29)	五月一日經	手実	丸部石敷→福壽寺写一切經所
13-1-17	佐伯淨足写經手実	天平13.閏3	五月一日經	手実	佐伯淨足→福壽寺写一切經所
13-2	五月一日經願文書写・裝潢帳數勘注	天平12.7.28作成	五月一日經	手実	写經司
13-3	写一切經四月經師手実	天平13.4.28~30	五月一日經	手実	福壽寺写一切經所
13-3-1	調雄蘇写經手実	天平13.4.28作成	五月一日經	手実	調雄蘇→福壽寺写一切經所
13-3-2	達沙牛甘写經手実	天平13.4	五月一日經	手実	達沙牛甘→福壽寺写一切經所

2-287~288	j12-4	1		
2-288~289	j12-5	1		
2-289	j12-6~7	1		
2-290	j12-8	1		
2-290~291	j12-9	1		
2-291	j12-10	1		
2-291~292	j12-11	1		
2-292~293	j12-12	1		右上「□□経二五帙 九卷」(未収)
2-293	j12-13	1		
2-293~294	j12-14	1		
2-294	j12-15	1		
2-294~295	j12-16	1		
7-520~522	j37-1~3	1		
7-520~521	j37-1	1		端裏「経師四月手実」
7-521~522	j37-2	1		
7-522~523	j37-3	1		
2-283~284、155~156、285、284~285、7-522~523	j37-4~11	1		
2-283	j37-4	1		端裏「四月校生等手実」(未収)
2-283	j37-5	2	紙背天地逆で (14)	
2-283~284	j37-5	2	紙背天地逆で (14)	
2-155~156	j37-6	1		年月日については本文参照
2-285	j37-7	1		
2-284	j37-8	1		
2-284	j37-9	1		

13-3-3	大鳥高人写経手実	天平13.4.28作成	五月一日経	手実	大鳥高人→福壽寺写一切経所
13-3-4	丸部石敷写経手実	(天平13.4)	五月一日経	手実	丸部石敷→福壽寺写一切経所
13-3-5	漢浄万呂写経手実	天平13.4.30作成	五月一日経	手実	漢浄万呂→福壽寺写一切経所
13-3-6	建部広足写経手実	天平13.4.30作成	五月一日経	手実	建部広足→福壽寺写一切経所
13-3-7	雀部島足写経手実	天平13.4.30作成	五月一日経	手実	雀部島足→福壽寺写一切経所
13-3-8	佐伯浄足写経手実	天平13.4.29作成	五月一日経	手実	佐伯浄足→福壽寺写一切経所
13-3-9	山部花(万呂)写経手実	天平13.4.30作成	五月一日経	手実	山部花万呂→福壽寺写一切経所
13-3-10	阿刀息人写経手実	天平13.4.30作成	五月一日経	手実	阿刀息人→福壽寺写一切経所
13-3-11	山邊諸公写経手実	天平13.4	五月一日経	手実	山邊諸公→福壽寺写一切経所
13-3-12	堺部文麻呂写経手実	天平13.4.30作成	五月一日経	手実	堺部文麻呂→福壽寺写一切経所
13-3-13	葛野安麻呂写経手実	天平13.4	五月一日経	手実	葛野安麻呂→福壽寺写一切経所
13-3-14	吳原生人写経手実	天平13.4.29作成	五月一日経	手実	吳原生人→福壽寺写一切経所
13-4	写一切経四月経師手実帳	天平13.4.28~30	五月一日経	手実	福壽寺写一切経所
13-4-1	大石広麻呂写経手実	天平13(.4)	五月一日経	手実	大石広麻呂→福壽寺写一切経所
13-4-2	山邊千足写経手実	天平13.4.28作成	五月一日経	手実	山邊千足→福壽寺写一切経所
13-4-3	古来小僧写経手実	天平13.4.30作成	五月一日経	手実	古来小僧→福壽寺写一切経所
13-5	写一切経四月校生手実帳	天平13.4.29~30 ・天平11.正.29	五月一日経	手実	福壽寺写一切経所
13-5-1	大伴吉人校経手実	天平13.4.30作成	五月一日経	手実	大伴吉人→福壽寺写一切経所
13-5-2	川原人成校経手実	天平13.4	五月一日経	手実	川原人成→福壽寺写一切経所
13-5-3	小野広万呂校経手実	天平13.4	五月一日経	手実	小野広万呂→福壽寺写一切経所
13-5-4	写経司解案	天平11.正.29作成	五月一日経	上日申請?	写経司(→皇后宮職)
13-5-5	装潢某造紙注文	天平13.4.30作成	五月一日経	造紙注文	某→福壽寺写一切経所
13-5-6	阿刀酒主校経手実	天平13.4.30作成	五月一日経	手実	阿刀酒主→福壽寺写一切経所
13-5-7	田邊当業校経手実	天平13.4.30作成	五月一日経	手実	田邊当業→福壽寺写一切経所

2-284~285	j37-10	1		
7-522~523	j37-11	1		
24-129~130	j37-5裏	1	紙背天地逆で (13-5-2・3)	
2-290、298~299、303~304、7-523~541、24-130~131、142~143	j14、j22			
24-142~143、7-530~537	j14-1~14			
24-142	j14-1	1		年月日は6月の誤り?
24-142~143	j14-2	1		
7-530	j14-3	1		
7-531	j14-4	1		
7-531~532	j14-5	1		
7-532	j14-6	1		
7-532~533	j14-7	1		
7-533	j14-8	1		
7-534	j14-9	1		
7-534~535	j14-10	1		
7-535	j14-11	1		
7-535~536	j14-12	1		
7-536	j14-13	1		
7-536~537	j14-14	1		
7-537~541、523~527、24-130~131	j14-15~23、j22-1~11	1		
7-537	j14-15	1		端裏「五月経師等手実天平十三年」、紙背天地逆「註」
7-537	j14-16	1		
7-538	j14-17	1		

13-5-8	戸令貴校経手実	天平13.4.30作成	五月一日経	手実	戸令貴→福壽寺写一切経所
13-5-9	辛国人成校経手実	天平13.4.29作成	五月一日経	手実	辛国人成→福壽寺写一切経所
14	写経司校生勘出法案	天平13.4.29作成		写経心得	福壽寺写一切経所(→校生)
15	写一切経経師校生等手実帳	天平13.5.25~6.30	五月一日経	手実	福壽寺写一切経所
15-1	写一切経六月経師手実帳	天平13.6.27~30、7.30	五月一日経	手実	福壽寺写一切経所
15-1-1	某写経手実	天平13.7.30作成	五月一日経	手実	某→福壽寺写一切経所
15-1-2	建部広足写経手実	天平13.6.30作成	五月一日経	手実	建部広足→福壽寺写一切経所
15-1-3	杖部子虫写経手実	天平13.6.30作成	五月一日経	手実	杖部子虫→福壽寺写一切経所
15-1-4	忍坂成麿写経手実	天平13.6.30作成	五月一日経	手実	忍坂成麿→福壽寺写一切経所
15-1-5	丸部石敷写経手実	天平13.6.30作成	五月一日経	手実	丸部石敷→福壽寺写一切経所
15-1-6	大河内土持写経手実	天平13.6.27作成	五月一日経	手実	大河内土持→福壽寺写一切経所
15-1-7	鯨恵麻呂写経手実	天平13.6.30作成	五月一日経	手実	鯨恵麻呂→福壽寺写一切経所
15-1-8	雀部鳥足写経手実	天平13.6.30作成	五月一日経	手実	雀部鳥足→福壽寺写一切経所
15-1-9	葛野安麻呂写経手実	天平13.6.30作成	五月一日経	手実	葛野安麻呂→福壽寺写一切経所
15-1-10	山部花(麻呂)写経手実	天平13.6.30作成	五月一日経	手実	山部花麻呂→福壽寺写一切経所
15-1-11	呉原生人写経手実	天平13.6.30作成	五月一日経	手実	呉原生人→福壽寺写一切経所
15-1-12	古来小僧写経手実	天平13.6.30作成	五月一日経	手実	古来小僧→福壽寺写一切経所
15-1-13	阿刀息人写経手実	天平13.6.30作成	五月一日経	手実	阿刀息人→福壽寺写一切経所
15-1-14	辛国人成写経手実	(天平13.6.30)	五月一日経	手実	辛国人成→福壽寺写一切経所
15-2	写一切経五月経師手実帳	天平13.5.29~6.5	五月一日経	手実	福壽寺写一切経所
15-2-1	五月写経巻紙勘注	(天平13.5)	五月一日経	集計注文	福壽寺写一切経所
15-2-2	山邊諸公写経手実	(天平13.5)	五月一日経	手実	山邊諸公→福壽寺写一切経所
15-2-3	丸部石敷写経手実	天平13.5.29作成	五月一日経	手実	丸部石敷→福壽寺写一切経所

7-538	j14-18	1		
7-538~539	j14-19	1		
7-539	j14-20	1		
7-539~540	j14-21	1	紙背に当文書の書き損じ?	
7-540	j14-22	1		紙背天地逆「智字界」(抹消)
7-540~541	j14-23	1		
7-523	j22-1	1		
7-524	j22-2	1		
7-524	j22-3	1		
7-524~525	j22-4	1		
7-525	j22-5	1		紙背右上「智字」
7-525~526	j22-6	1		
7-526	j22-7	1		
7-526~527	j22-8	1		
7-527	j22-9	1		
7-527	j22-10	1		紙背に数文字 (未収)
24-130~131	j22-11	1		紙背楽書 (未収)
24-143~144	j22-12	2	紙背天地逆「天平年間写経 ? 司解案」(大日古24-113)	
2-296、303~304、 298~299、7-528~ 529、未収、7-529~ 530	j22-13~22			
2-296	j22-13	1		端裏「五月六月校生手実 天平十三年」(未収)
2-303~304	j22-14	1		
2-298~299	j22-15	1		
7-528	j22-16	1		

15-2-4	山部花(万吕)写经手実	天平13.5.29作成	五月一日経	手実	山部花万吕→福壽寺写一切経所
15-2-5	大鳥祖足写经手実	天平13.6.5作成	五月一日経	手実	大鳥祖足→福壽寺写一切経所
15-2-6	建部広足写经手実	天平13.5.29作成	五月一日経	手実	建部広足→福壽寺写一切経所
15-2-7	葛野安万吕写经手実	天平13.5.29作成	五月一日経	手実	葛野安万吕→福壽寺写一切経所
15-2-8	雀部嶋足写经手実	天平13.5.29作成	五月一日経	手実	雀部嶋足→福壽寺写一切経所
15-2-9	達沙牛甘写经手実	天平13.5.29作成	五月一日経	手実	達沙牛甘→福壽寺写一切経所
15-2-10	大鳥高人写经手実	天平13.5.29作成	五月一日経	手実	大鳥高人→福壽寺写一切経所
15-2-11	調索蘇写经手実	天平13.5.29作成	五月一日経	手実	調索蘇→福壽寺写一切経所
15-2-12	山邊千足写经手実	天平13.5.29作成	五月一日経	手実	山邊千足→福壽寺写一切経所
15-2-13	古来小僧写经手実	天平13.5.29作成	五月一日経	手実	古来小僧→福壽寺写一切経所
15-2-14	阿刀息人写经手実	天平13.5.29作成	五月一日経	手実	阿刀息人→福壽寺写一切経所
15-2-15	三島宗万吕写经手実	天平13.5.29作成	五月一日経	手実	三島宗万吕→福壽寺写一切経所
15-2-16	凡川内土持写经手実	天平13.5.29作成	五月一日経	手実	凡川内土持→福壽寺写一切経所
15-2-17	大石広万吕写经手実	天平13.5.29作成	五月一日経	手実	大石広万吕→福壽寺写一切経所
15-2-18	坂合部文万吕写经手実	天平13.5.29作成	五月一日経	手実	坂合部文万吕→福壽寺写一切経所
15-2-19	呉原生人写经手実	天平13.5.29作成	五月一日経	手実	呉原生人→福壽寺写一切経所
15-2-20	漢浄万吕写经手実	天平13.5.29作成	五月一日経	手実	漢浄万吕→福壽寺写一切経所
15-3	校経裝潢卷紙数布施勘注	(天平13.5.1~6.30)	五月一日経	布施注文	福壽寺写一切経所
15-4	写一切経五月六月校生手実帳	天平13.5.25~6.30	五月一日経	手実	福壽寺写一切経所
15-4-1	田邊当成校経手実	天平13.5.25作成	五月一日経	手実	田邊当成→福壽寺写一切経所
15-4-2	田邊当成校経手実	天平13.6.30作成	五月一日経	手実	田邊当成→福壽寺写一切経所
15-4-3	小野広麻吕校経手実	天平13.5.29作成	五月一日経	手実	小野広麻吕→福壽寺写一切経所
15-4-4	小野広麻吕校経手実	天平13.6.30作成	五月一日経	手実	小野広麻吕→福壽寺写一切経所

7-528~529	j22-17	1		
未収(杉本報告95頁)	j22-18	1		
7-529	j22-19	1		
7-529~530	j22-20~21	1		
24-131~142、未収	j4、j11の一部			
未収、24-131~136	j4-1~7、11~19、j11の一部			中間欠あり
未収(杉本報告99頁)	j11の一部	1		
24-131	j4-1	1		
24-131~132	j4-2	1		
24-132	j4-3	1		
24-135~136	j4-11、14	1		
24-135、136	j4-15、12	1		
24-136~137	j4-15	1		
24-137	j4-16	1		
24-137	j4-17	1		
24-137~138	j4-18	1		
24-137、132	j4-19、4	1		
24-133	j4-5	1		
24-133~134	j4-6	1		
24-134	j4-7	1		
24-134	j4-8	1		紙背右端天地逆「千経二百十二巻」
24-135、138~142	j4-9~10、21~27	1		
24-135、未収	j4-9~9'	1		紙背天地逆「校生等手実書」
24-135、138	j4-10、20	1		

15-4-5	戸令貴校經手実	天平13.5.29作成	五月一日經	手実	戸令貴→福壽寺写一切經所
15-4-6	戸令貴校經手実	天平13.6.30作成	五月一日經	手実	戸令貴→福壽寺写一切經所
15-4-7	河原人成校經手実	天平13.5.29作成	五月一日經	手実	河原人成→福壽寺写一切經所
15-4-8	河原人成校經手実	天平13.6.30作成	五月一日經	手実	河原人成→福壽寺写一切經所
16	写一切經師校生等手実帳	天平13.5.30~11.5	五月一日經	手実	福壽寺写一切經所
16-1	写一切經自七月至九月經師手実帳	天平13.7.29~9.30	五月一日經	手実	福壽寺写一切經所
16-1-1	某写經手実	(天平13.7)	五月一日經	手実	某→福壽寺写一切經所
16-1-2	某(忍坂成磨?)写經手実	天平13.7.29作成	五月一日經	手実	某→福壽寺写一切經所
16-1-3	某写經手実	天平13.7.30作成	五月一日經	手実	某→福壽寺写一切經所
16-1-4	某写經手実	(天平13.7)	五月一日經	手実	某→福壽寺写一切經所
16-1-5	某写經手実	(天平13.7)	五月一日經	手実	某→福壽寺写一切經所
16-1-6	某写經手実	天平13.7.29作成	五月一日經	手実	某→福壽寺写一切經所
16-1-7	某写經手実	天平13.7.30作成	五月一日經	手実	某→福壽寺写一切經所
16-1-8	山部花(万呂)写經手実	(天平13.7?8?)	五月一日經	手実	山部花万呂→福壽寺写一切經所
16-1-9	某写經手実	(天平13.7?8?)	五月一日經	手実	某→福壽寺写一切經所
16-1-10	某写經手実	(天平13.7?8?)	五月一日經	手実	某→福壽寺写一切經所
16-1-11	丸部石敷写經手実	天平13.8.29作成	五月一日經	手実	丸部石敷→福壽寺写一切經所
16-1-12	飛鳥刀良写經手実	天平13.8.29作成	五月一日經	手実	飛鳥刀良→福壽寺写一切經所
16-1-13	某写經手実	天平13.9.30作成	五月一日經	手実	某→福壽寺写一切經所
16-1-14	某写經手実	天平13.9.30作成	五月一日經	手実	某→福壽寺写一切經所
16-2	写一切經裝潢充紙勘注	天平13.11.5作成	五月一日經	布施注文	福壽寺写一切經所
16-3	写一切經校生手実帳	天平13.5.30~8.29	五月一日經	手実	福壽寺写一切經所
16-3-1	写一切經裝潢充紙勘注	(天平13.?)	五月一日經	布施注文	福壽寺写一切經所
16-3-2	大伴吉人校經手実	天平13.5.30作成	五月一日經	手実	大伴吉人→福壽寺写一切經所

24-138~139	j4-21	1		
24-139~140	j4-22~23	1		
24-140	j4-24	1		
24-140~141	j4-25	1		
24-141	j4-26	1		紙背中央「□芸〈五十 (?) / 五〉」
24-141~142	j4-27	1		
未収、8-132~133、 7-588~598	j20、11	1		
未収	j11- ?	1		
8-132	j20-1	1		天平13の誤り？
8-132~133	j20-2	1		
7-588	j20-3	1		
7-588~589	j20-4	1		
7-589	j20-5	1		
7-590	j20-6	1		
7-590	j20-7	1		
7-590~591	j20-8	1		
7-591	j20-9	1		
7-592	j20-10	1		
7-592	j20-11	1		
7-592~593	j20-12	1		
7-593	j20-13	1		
7-593~594	j20-14	1		
7-594	j20-15	1		紙背左上に習書
7-595	j20-16	1		

16-3-3	田辺正成校経手実	天平13.7.30作成	五月一日経	手実	田辺正成→福壽寺写一切経所
16-3-4	戸令貴校経手実	天平13.7.30作成	五月一日経	手実	戸令貴→福壽寺写一切経所
16-3-5	川原人成校経手実	天平13.8.29作成	五月一日経	手実	川原人成→福壽寺写一切経所
16-3-6	某校経手実	天平13.6.30作成	五月一日経	手実	某→福壽寺写一切経所
16-3-7	桑原足床校経手実	天平13.7.29作成	五月一日経	手実	桑原足床→福壽寺写一切経所
16-3-8	某校経手実	天平13.6.29作成	五月一日経	手実	某→福壽寺写一切経所
17	写一切経経師校生手実帳	天平13.9.30~ 12.21	五月一日経 ・外写	手実	福壽寺写一切経所
17-1	丸部石敷写経手実	(天平13.?)	五月一日経	手実	丸部石敷→福壽寺写一切経所
17-2	某写経手実	天平14.10.29作成	五月一日経	手実	某→福壽寺写一切経所
17-3	鯨恵麻呂写経手実	天平13.10.30作成	五月一日経	手実	鯨恵麻呂→福壽寺写一切経所
17-4	建部広足写経手実	天平13.11	五月一日経	手実	建部広足→福壽寺写一切経所
17-5	民長麻呂写経手実	天平13.11.29作成	五月一日経	手実	民長麻呂→福壽寺写一切経所
17-6	戸令貴写経手実	天平13.11.29作成	五月一日経	手実	戸令貴→福壽寺写一切経所
17-7	杖部子虫写経手実	天平13.11.29作成	五月一日経	手実	杖部子虫→福壽寺写一切経所
17-8	鯨恵麻呂写経手実	天平13.11.29作成	五月一日経	手実	鯨恵麻呂→福壽寺写一切経所
17-9	忍坂成麻呂写経手実	天平13.11.29作成	五月一日経	手実	忍坂成麻呂→福壽寺写一切経所
17-10	志紀久比末呂写経手実	天平13.11.29作成	五月一日経	手実	志紀久比末呂→福壽寺写一切経所
17-11	飛鳥刀良写経手実	天平13.11.4作成	五月一日経	手実	飛鳥刀良→福壽寺写一切経所
17-12	山部花万呂写経手実	天平13.11.29作成	五月一日経	手実	山部花万呂→福壽寺写一切経所
17-13	古来小僧写経手実	天平13.11.29作成	五月一日経 ・法華経	手実	古来小僧→福壽寺写一切経所
17-14	戸令貴写経手実	天平13.12.7作成	五月一日経	手実	戸令貴→福壽寺写一切経所
17-15	辛国人成写経手実	天平13.12.7作成	五月一日経	手実	辛国人成→福壽寺写一切経所
17-16	大鳥祖足写経手実	天平13.12.7作成	五月一日経	手実	大鳥祖足→福壽寺写一切経所
17-17	雀部鳥足写経手実	天平13.12.11作成	五月一日経	手実	雀部鳥足→福壽寺写一切経所

7-595	j20-17	1		
7-595~596	j20-18	1		
7-596	j20-19	1		天平13の誤り？
7-596	j20-20	1		
7-597	j20-21	1		
7-597	j20-22	1		
7-597~598	j20-23	1		
7-514~520	zz28-2<1>~<7>	1		題箋「裝潢告朔」「天平十三／年」
7-514	zz28-2<1>	1		
7-514~515	zz28-2<2>	1		
7-515~516	zz28-2<3>	1		
7-517	zz28-2<4>	1		
7-517~519	zz28-2<5>	1		
7-519	zz28-2<6>	1		
7-519~520	zz28-2<7>	1		付箋「五ノ十一」
7-541~542	zz27-3<37>	1		付箋「廿五ノ九 卅三」
7-500~501	zz14-7<6>	1		
7-513	zz16-2<5>	1	紙背「天平十七年(?) 校経未正勘注」(大日古 24-319)	
7-542~560	zz7-1<1>~<50>			端裏「千手経」「自天平十三年七月一日至九月卅日経生并裝潢校生手実継者」
7-542~543	zz7-1<1>	2	紙背天地逆で(23)	
7-543~552	zz7-1<2>~<29>			
7-543	zz7-1<2>			紙背天地逆「合三伯伍拾四張」(大日古24-453、ただし紙焼では確認不可)
7-543	zz7-1<3>			紙背天地逆「用三千五百十五百卅九卷 十二千九百五十」(大日古24-453)
7-544	zz7-1<4>	1		一行目は3紙にかかっている

17-18	古来小僧写经手实	天平13.11.20作成	五月一日经 ·外写	手实	古来小僧→福壽寺写一切经所
17-19	建部広足写经手实	天平13.11	五月一日经 ·法花经	手实	建部広足→福壽寺写一切经所
17-20	丸部石敷写经手实	天平14.10.27作成	五月一日经 ·法華经	手实	丸部石敷→福壽寺写一切经所
17-21	雀部島足写经手实	天平13.11.23作成	五月一日经 ·法花经	手实	雀部島足→福壽寺写一切经所
17-22	河原人成校经手实	天平13.12.20作成	五月一日经	手实	河原人成→福壽寺写一切经所
17-23	戸令貴校经手实	天平13.9.30作成	五月一日经	手实	戸令貴→福壽寺写一切经所
17-24	写一切经装潢勘注	天平13.12.21作成	五月一日经	布施注文	福壽寺写一切经所
18	装潢所解案等帳	(天平11).4.20~ 13.7.29	五月一日经	装潢所解 繼文	装潢所(→福壽寺写一切经所)
18-1	装潢所解案	(天平11).4.20作成	五月一日经	装潢造紙 注文	装潢所(→福壽寺写一切经所)
18-2	装潢所解案	天平11.7.30作成	五月一日经	装潢造紙 注文	装潢所(→福壽寺写一切经所)
18-3	装潢所解案	天平13.4.30作成	五月一日经	装潢受紙 注文	装潢所(→福壽寺写一切经所)
18-4	装潢所勘注	天平13.閏3.29作成	五月一日经	装潢残紙 注文	装潢所(→福壽寺写一切经所)
18-5	装潢所勘注	天平13.5.4作成	五月一日经	装潢紙数 記録	装潢所(→福壽寺写一切经所)
18-6	装潢所解案	天平13.7.29作成	五月一日经	装潢上紙 数注文	装潢所(→福壽寺写一切经所)
18-7	装潢所勘注	(天平13.6.30以降)	五月一日经	装潢紙数 記録	装潢所(→福壽寺写一切经所)
19	菌部広足造紙布施勘注	(天平13.閏3.以降)	五月一日经	造紙并布 施注文	菌部広足
20	某寺三綱解	天平13.閏3.21作成		经卷注文	某寺→(皇后官職)
21	写一切经司移	天平13.4.19作成	五月一日经	经卷奉請	写一切经司→皇后官職
22	写千手经经師校生等手实帳	天平13.7.4~11.7	千手经	手实	福壽寺写一切经所
22-1	写千手经自七月至九月布施注文	天平13.11.7作成	千手经	集計注文	福壽寺写一切经所
22-2	写千手经七月八月经師手实帳	天平13.7~8.29	千手经	手实	福壽寺写一切经所
22-2-1	写千手经七月八月写经量勘注	(天平13.7~8.29)	千手经	集計注文	福壽寺写一切经所
22-2-2	建部広足写经手实	天平13.7.30作成	千手经	手实	建部広足→福壽寺写一切经所
22-2-3	志紀久比磨写经手实	天平13.7.30作成	千手经	手实	志紀久比磨→福壽寺写一切经所

7-544	zz7-1<5>	1	
7-545	zz7-1<6>	1	
7-545	zz7-1<7>	1	
7-545~546	zz7-1<8>~<9>	1	
7-546	zz7-1<10>	1	紙背右上「漢」
7-546~547	zz7-1<11>	1	
7-547	zz7-1<12>	1	
7-547~548	zz7-1<13>	1	日付の「八」は抹消
7-548	zz7-1<14>~<15>	1	日付の「卅」は、十三年八月ならばありえない
7-548	zz7-1<16>	1	
7-548~549	zz7-1<17>	1	
7-549	zz7-1<18>	1	
7-549	zz7-1<19>~<20>	1	19紙背右天地逆「千手千眼□□」(未収)
7-550	zz7-1<21>	1	もしくは28日の誤記?
7-550	zz7-1<22>	1	紙背右「□□一百枚□□」(抹梢、未収)「千手経」(紙焼では確認不可)
7-550~551	zz7-1<23>	1	
7-551	zz7-1<24>	1	
7-551	zz7-1<25>	1	
7-551	zz7-1<26>	1	紙背「十七貫六百廿一文」
7-552	zz7-1<27>	1	
7-552	zz7-1<28>	1	
7-552	zz7-1<29>	1	
7-553~556	zz7-1<30>~<40>	1	

22-2-4	山部花(万吕)写经手实	天平13.7.30作成	千手经	手实	山部花万吕→福壽寺写一切经所
22-2-5	丸部麻吕写经手实	天平13.7.4作成	千手经	手实	丸部麻吕→福壽寺写一切经所
22-2-6	丸部石敷写经手实	天平13.7.30作成	千手经	手实	丸部石敷→福壽寺写一切经所
22-2-7	安曇広万吕写经手实	天平13.7.30作成	千手经	手实	安曇広万吕→福壽寺写一切经所
22-2-8	漢浄万吕写经手实	天平13.7.30作成	千手经	手实	漢浄万吕→福壽寺写一切经所
22-2-9	角惠麻吕写经手实	天平13.7.30作成	千手经	手实	角惠麻吕→福壽寺写一切经所
22-2-10	杖部造子虫写经手实	天平13.7.30作成	千手经	手实	杖部造子虫→福壽寺写一切经所
22-2-11	葛野安麻吕写经手实	天平13.7.29作成	千手经	手实	葛野安麻吕→福壽寺写一切经所
22-2-12	杖部造子虫写经手实	天平13.8.30作成	千手经	手实	杖部造子虫→福壽寺写一切经所
22-2-13	志紀久比麻吕写经手实	天平13.8.29作成	千手经	手实	志紀久比麻吕→福壽寺写一切经所
22-2-14	古来小僧写经手实	天平13.8.29作成	千手经	手实	古来小僧→福壽寺写一切经所
22-2-15	角惠麻吕写经手实	天平13.8.29作成	千手经	手实	角惠麻吕→福壽寺写一切经所
22-2-16	史戸益人写经手实	天平13.8.28作成	千手经	手实	史戸益人→福壽寺写一切经所
22-2-17	茨田久治麻吕写经手实	天平13.8.8作成	千手经	手实	茨田久治麻吕→福壽寺写一切经所
22-2-18	丸部麻吕写经手实	天平13.8.29作成	千手经	手实	丸部麻吕→福壽寺写一切经所
22-2-19	建部広足写经手实	天平13.8.29作成	千手经	手实	建部広足→福壽寺写一切经所
22-2-20	六人部大鳥写经手实	天平13.8.29作成	千手经	手实	六人部大鳥→福壽寺写一切经所
22-2-21	雀部鳥足写经手实	天平13.8.29作成	千手经	手实	雀部鳥足→福壽寺写一切经所
22-2-22	安曇広万吕写经手实	天平13.8.29作成	千手经	手实	安曇広万吕→福壽寺写一切经所
22-2-23	錦部君万吕写经手实	天平13.8.29作成	千手经	手实	錦部成麻吕→福壽寺写一切经所
22-2-24	忍坂成麻吕写经手实	天平13.8.29作成	千手经	手实	忍坂成麻吕→福壽寺写一切经所
22-2-25	辛国人成写经手实	天平13.8.29作成	千手经	手实	辛国人成→福壽寺写一切经所
22-3	写千手经九月经師手实帳	天平13.9.30作成	千手经	手实	福壽寺写一切经所

7-553	zz7-1<30>	2		端裏「十三年／九月内経師等手実案文」紙背「写注維摩経注文」(大日古24-47)天地逆で楽書もあり
7-553	zz7-1<31>	1		紙背右上「十七」(?) (未収)
7-553	zz7-1<32>	1		
7-554	zz7-1<33>	1		
7-554	zz7-1<34>	1		
7-554~555	zz7-1<35>	1		
7-555	zz7-1<36>	1		
7-555	zz7-1<37>	1		
7-555~556	zz7-1<38>	1		
7-556	zz7-1<39>	1		
7-556	zz7-1<40>	1		
7-557~560	zz7-1<41>~<50>	1		
7-557	zz7-1<41>~<43>	2	42・43紙紙背(24)	
7-557~558	zz7-1<44>	1	紙背「壽壽寺寫一切／寫寫一切経所解寫紙／頼」(未収)	紙背右下天地逆「廿一枚」(未収)
7-558~559	zz7-1<45>~<46>	1		
7-559	zz7-1<47>	1		
7-559~560	zz7-1<48>~<49>	1		
7-560	zz7-1<50>	1		
24-145~146	zz7-1<1>裏	1	紙背天地逆で(22-1)	楽書あり(未収)
24-148~149	zz7-1<43>裏~<42>裏	1	紙背(22-4-1)	
7-577~588	zz7-2<1>~<25>	1		端裏「自天平十三年十月七日至十二月七日千手経々師潢装校生手実書」
7-577~578	zz7-2<1>	1		
7-578	zz7-2<2>	1		

22-3-1	九月写経巻紙数勘注	(天平13.9)	千手経	集計注文	福壽寺写一切経所
22-3-2	志紀久比麻呂写経手実	天平13.9.30作成	千手経	手実	志紀久比麻呂→福壽寺写一切経所
22-3-3	古来小僧写経手実	天平13.9.30作成	千手経	手実	古来小僧→福壽寺写一切経所
22-3-4	鯨恵麻呂写経手実	天平13.9.30作成	千手経	手実	鯨恵麻呂→福壽寺写一切経所
22-3-5	葛野安麻呂写経手実	天平13.9.30作成	千手経	手実	葛野安麻呂→福壽寺写一切経所
22-3-6	雀部島足写経手実	天平13.9.30作成	千手経	手実	雀部島足→福壽寺写一切経所
22-3-7	漢浄万呂写経手実	天平13.9.30作成	千手経	手実	漢浄麻呂→福壽寺写一切経所
22-3-8	忍坂成麻呂写経手実	天平13.9.30作成	千手経	手実	忍坂成麻呂→福壽寺写一切経所
22-3-9	建部広足写経手実	天平13.9.30作成	千手経	手実	建部広足→福壽寺写一切経所
22-3-10	丸部石敷写経手実	天平13.9.30作成	千手経	手実	丸部石敷→福壽寺写一切経所
22-3-11	杖部子虫写経手実	天平13.9.30作成	千手経	手実	杖部子虫→福壽寺写一切経所
22-4	写千手経装潢校生手実帳	天平13.7~9.30	千手経	手実	福壽寺写一切経所
22-4-1	自七月至九月装潢校生巻紙数布 施勘注	(天平13.7~9.30)	千手経	手実	福壽寺写一切経所
22-4-2	桑原足得校経手実	天平13.8.29作成	千手経	手実	桑原足得→福壽寺写一切経所
22-4-3	戸令貴校経手実	天平13.8.29作成	千手経	手実	戸令貴→福壽寺写一切経所
22-4-4	川原人成校経手実	天平13.8.29作成	千手経	手実	川原人成→福壽寺写一切経所
22-4-5	大伴吉人校経手実	天平13.8.29作成	千手経	手実	大伴吉人→福壽寺写一切経所
22-4-6	田辺正成校経手実	天平13.8.29作成	千手経	手実	田辺正成→福壽寺写一切経所
23	福壽寺写一切経所解案	(天平13.11.27以前)	五月一日経	布施申請	福壽寺写一切経所 (→皇后宮職)
24	校生勘出勘注	(天平13.7.~ 13.9.30の間)	五月一日経	勘出注文	福壽寺写一切経所
25	写千手経経師校生等手実帳	天平13.(9.30)・ 10.29~12.20	千手経	手実	福壽寺写一切経所
25-1	写千手経自十月至十二月布施勘 注	(天平13.10.1~ 12.7)	千手経	集計注文	福壽寺写一切経所
25-2	葛野安麻呂写経手実	天平13.10.30作成	千手経	手実	葛野安麻呂→福壽寺写一切経所

7-579	zz7-2< 3 >	1		
7-579	zz7-2< 4 >	1		13年の誤り？
7-580	zz7-2< 5 >	1		
7-580	zz7-2< 6 >	1		
7-581	zz7-2< 7 >	1		
7-581	zz7-2< 8 >	1		
7-581~582	zz7-2< 9 >	1		
7-582	zz7-2<10>	1		
7-582	zz7-2<11>	1		紙背に楽書「六六六六六七五空一」
7-582~583	zz7-2<12>	1		
7-583	zz7-2<13>	1		
7-583	zz7-2<14>	1		
7-583~584	zz7-2<15>	1		
7-584	zz7-2<16>	1		
7-584~585	zz7-2<17>	1		
7-585	zz7-2<18>	1		
7-585	zz7-2<19>	1		次と同一紙
7-585~586	zz7-2<19>	1		前と同一紙
7-586	zz7-2<20>	1		
7-586	zz7-2<21>	1		
7-586	zz7-2<22>	1		
7-587	zz7-2<23>	2	紙背 (26)	
7-587	zz7-2<24>	1		
7-587~588	zz7-2<25>	1		十月から十二月分までの手 実

25-3	建部広足写経手実	天平13.10.29作成	千手経	手実	建部広足→福壽寺写一切経所
25-4	丸部石敷写経手実	天平14.11.13作成	千手経	手実	丸部石敷→福壽寺写一切経所
25-5	志紀久比末呂写経手実	天平13.11.29作成	千手経	手実	志紀久比末呂→福壽寺写一切経所
25-6	鯨恵麻呂写経手実	天平13.11.29作成	千手経	手実	鯨恵麻呂→福壽寺写一切経所
25-7	雀部鳥足写経手実	天平13.11.29作成	千手経	手実	雀部鳥足→福壽寺写一切経所
25-8	民長麻呂写経手実	天平13.11.29作成	千手経	手実	民長麻呂→福壽寺写一切経所
25-9	建部広足写経手実	天平13.11.29作成	千手経	手実	建部広足→福壽寺写一切経所
25-10	阿刀息人写経手実	天平13.11.28作成	千手経	手実	阿刀息人→福壽寺写一切経所
25-11	茨田久治麻(呂)写経手実	天平13.11.29作成	千手経	手実	茨田久治麻呂→福壽寺写一切経所
25-12	忍坂成麻呂写経手実	天平13.11.29作成	千手経	手実	忍坂成麻呂→福壽寺写一切経所
25-13	漢浄万呂写経手実	天平13.11.29作成	千手経	手実	漢浄万呂→福壽寺写一切経所
25-14	古来小僧写経手実	天平13.11.29作成	千手経	手実	古来小僧→福壽寺写一切経所
25-15	山部花万呂写経手実	天平13.11.29作成	千手経	手実	山部花万呂→福壽寺写一切経所
25-16	杖部子虫写経手実	天平13.11.29作成	千手経	手実	杖部子虫→福壽寺写一切経所
25-17	葛野安麻呂写経手実	天平13.11.29作成	千手経	手実	葛野安麻呂→福壽寺写一切経所
25-18	戸令貴写経手実	天平13.11.29作成	千手経	手実	戸令貴→福壽寺写一切経所
25-19	杖部子虫写経手実	天平13.12.7作成	千手経	手実	杖部子虫→福壽寺写一切経所
25-20	春日家万呂写経手実	天平13.12.7作成	千手経	手実	春日家万呂→福壽寺写一切経所
25-21	鯨恵麻呂写経手実	天平13.12.5作成	千手経	手実	鯨恵麻呂→福壽寺写一切経所
25-22	阿刀息人写経手実	天平13.12.6作成	千手経	手実	阿刀息人→福壽寺写一切経所
25-23	漢浄万呂写経手実	天平13.12.7作成	千手経	手実	漢浄万呂→福壽寺写一切経所
25-24	秦大床造紙布施勘注	(天平13.9~12の間)	千手経	手実	秦大床→福壽寺写一切経所
25-25	戸令貴校経手実	天平13.9.30作成	千手経	手実	戸令貴→福壽寺写一切経所
25-26	河原人成校経手実	天平13.12.20作成	千手経	手実	河原人成→福壽寺写一切経所

24-146	zz7-2<23>裏	1	紙背 (25-24)	
2-307	zb16②	1		左端上部に「一□□事□□」
2-308	zb30①	1		紙背右端下天地逆「成」、左端「廣国」(未収)
7-561~577	zz35-1<1>~<17>	2		
7-195~197	zz35-1<12>裏~<11>裏	2 or 3		
7-226~227	zz35-1<11>裏~<10>裏	2 or 3		
未収	zz35-1<9>裏	2 or 3		13年の誤り?
7-229~230	zz35-1<9>裏	2 or 3		
7-232~233	zz35-1<7>裏	2 or 3		
7-238~239	zz35-1<3>裏	2 or 3		
7-511~513	zz3-2<3>裏~<4>裏	2	紙背天地逆で「福壽寺写一切経所解案」(大日古8-64~66)	3紙右下に付箋「一ノ二」
7-501~503	zz28-3<17>~<18>	1		18紙背右下天地逆「宮僧正□□□」

26	福壽寺写一切經司啓案	(天平13.12以前)	五月一日經	經卷注文	福壽寺写一切經所→
27	福壽寺写一切經解案	天平13.10.19作成	?	筆等申請	福壽寺写一切經所→ 皇后宮職
28	装潢所解	天平13.12.3作成	千手經・五月一日經	装潢上紙 数注文	装潢所→福壽寺写一切經所
29-1	写經充紙帳	天平13.8.1～ 14.4.29	千手經・五月一日經など	充紙帳	福壽寺写一切經所
29-2	写經充紙注文	(天平13.7.1～ 8.29)	千手經・五月一日經	充紙注文	福壽寺写一切經所
29-3	写經充紙布施等勘注	天平13.8.29作成	千手經・五月一日經	充紙并布施注文	福壽寺写一切經所
29-4	写一切經所解案	天平12.?.26作成	千手經	經卷注文	福壽寺写一切經所→ 皇后宮職
29-5	充本帳案	(天平13.7～12.7)	千手經・五月一日經	充本帳	福壽寺写一切經所
29-6	充紙装潢帳案	(天平13.9～12.)	千手經	充紙帳	福壽寺写一切經所
29-7	受充用紙勘注	(天平13.) 10.18 作成	千手經・五月一日經	充紙注文	福壽寺写一切經所
30	写經行事布施勘注	天平13.閏3～ 14.11	五月一日經・法花疏・雜經	布施注文	福壽寺写一切經所
31	装潢等送紙帳	天平13.閏3～ 15.5.28	五月一日經	装潢上紙帳	金光明寺写經所?

〔参考文献〕

- 榮原永遠男「天平十三年～十五年における千手経一〇〇〇巻の書写（上）」
〔人文研究（大阪市大）三六―九、一九八四a〕
- 榮原永遠男「初期写経所に関する二三の問題」（奈良時代の写経と内裏）堀
書房、二〇〇〇、所収。初出一九八四b）
- 榮原永遠男「福寿寺大般若経について」（日本歴史）四五〇、一九八五）
- 榮原永遠男「天平六年の聖武天皇発願一切経」（奈良時代の写経と内裏、初
出一九九四）
- 榮原永遠男「北大家写経所と藤原北夫人発願一切経」（奈良時代の写経と内
裏、初出一九九五）
- 大平聡「正倉院文書と古写経の研究による奈良時代政治史の検討」科研報告
書、一九九五
- 杉本一樹「古文書の調査」（『正倉院年報』一三、一九九一）
- 須原祥二「正倉院文書写経機関関係文書編年目録―天平九・十年―」（『東京
大学日本史学研究室紀要』三、一九九九）
- 三上喜孝「正倉院文書写経機関関係文書編年目録―天平十四年―」（『東京大
学日本史学研究室紀要』四、二〇〇〇）
- 皆川完一「光明皇后願経五月一日経の書写について」（『日本古代史論集』上、
吉川弘文館、一九六二、所収）
- 山下有美「正倉院文書と写経所の研究」吉川弘文館、一九九九
- 山本幸男「八世紀における王臣家発給文書の検討」（『ヒストリア』八九、一
九八〇）

〔付言〕本目録は、一九九四年度に小倉慈司氏が石上先生のゼミで報告したも
のを土台として、有富純也が構成し直したものである。よってここで述べた

多くの見解は小倉氏の検討成果をもとに論じたものであり、さらには本目録
作成の過程で小倉氏から多大なご教示を得た。よって本来ならば小倉氏と連
名にして発表すべきものであるが、諸事情のため有富の単独報告として発表
する。小倉氏に深く感謝したい。